

1. 桁違いのスピード感と世界戦略の経営者 FOREVER21「Mr. Chan」

アメリカも日本同様にファッションビジネスは深刻な不況ですが「FOREVER21」と「J. CREW」だけは2桁の伸びで世界からも注目されています。その「FOREVER21」の CEO である Mr. Chan と今年に入り3回ほど日本で打ち合わせをし、そのインターナショナル感とケタ外れたスピード感に大変なショックを受けました。毎回、午後に成田から東京に入り翌日は午前中までで他国へと移動します。その間の打ち合わせ及び視察は分単位のスケジュールですが、その都度適格なジャッジをしていきます。7月末は急ぎょロンドンに用事が出来たとのことで東京滞在時間、僅か3時間で数件のビジネスをこなし成田へ向かいました。同社の戦略は当初からインターナショナルでカナダ、ドバイ、オマーン、シンガポール、シャンハイ、バンコック、ロンドンと H&M 並に拡大しております。又、商品や資材の調達も世界へ発注、商品は LA50%、中国50%、パッケージはインドネシア、店舗造作の金具はメキシコ、床材は中国とすべてがグローバルな視点で捉えています。日本のファッション及び流通企業の拡大戦略は極めてドメスティックで最近になりやっと中国へ出店が検討され始めていますが「FOREVER21」や H&M 等々の桁違いのスピード感と世界戦略にこれからの日本の経営陣も対抗しなければなりません。大変な時代になりました。

2. SC のサービス介助士準備は基本インフラ(イオン久里浜 SC)

横須賀久里浜に8月12日にジャスコがオープンしました。京急久里浜駅から3分ほどで久里浜自動車学校跡地にジャスコを核に26の専門店を導入、また自動車学校をなんと屋上に配置し同地区に初めての GMS としてまずは好評な滑り出しをしました。ファッションやホーム関連は相変わらず安いだけでセンス悪く苦戦しそうですが、食品は地元三浦の地場産品コーナーを設置し朝採りの野菜や三崎港からの水揚げ鮮魚等、住民から支持されそうです。

店舗運営面での特筆はサービス介助士(NPO 日本ケアフィット協会の民間資格)の2級取得者を20名配置し高齢者や身障者に対応したことです。利用者には大変喜ばれておりますがまだ店内や広告での告知が充分でなく知れ渡っていませんが時間と共に認知されることでしょう。このサービス介助士は SC にとって CS 活動の基本的インフラとなります。

但し、イオンの営業時間の問題はここでも閉店23時と解決されていません。テナント及び自社従業員の安全面の確保、従業員駐車場が取れないこの SC で東京方面までは終電に間に合いませんし近くからの通勤にしても大変です。この地区で一体23時まで営業する意味が何処にあるのでしょうか。

3. アパレル輸入が6年ぶり減少

08年上期のアパレル輸入が02年以来6年ぶりに減少しています。数量で4%、金額で10%の減少で、日本の国内衣料消費の低迷がつづくなか今後もさらに減少するとの見方が強まっています。

国別で90%を超える中国のからの輸入が減少に転じたことが大きな要因ですが、ベトナム、インドネシア、インドでは数量が微増ながら円高もあり単価は下がっています。

アパレルやOEM関連の商社の担当者の間では、「中国では韓国系、台湾系の工場では夜逃げ同様に閉鎖」するケースもあるなど、人件費の高騰、福利厚生制度の厳守など工場経営は難しくなっており、「海外生産でコストを下げる」発想は成り立たないとの認識が広がっています。中国一極集中を避ける狙いで進出したベトナムでも、急速なインフレで「石油などは日本より高い」「10~20%の賃上げが続く」など先行きは不安です。

大手アパレルの生産担当者からは「百貨店からは販売単価が高すぎる」との声が高くなっているが、素材や人件費は確実に上がっており「生産コストをこれ以上減らすのはもう限界」という声も出はじめており、ある商社の幹部は「OEMビジネスに頼りすぎるのは危険」と首を傾げています。所得は増えないが生活必需品は値上げつづきの日本では、消費者はあらゆる情報を駆使して「買う場所と商品」を選択することが出来るようになってきているのですから、生産担当者の努力で乗り切れないところに来ています。

4. 行列ができた「THE CONTEMPORARY FIX」のマスターマインド

この夏に青山にオープンした「THE CONTEMPORARY FIX」は当初マスターマインドのオンリーショップとしてスタートしました。元ラブレスのディレクター吉井雄一氏が経営するショップです。同氏がマスターマインドの本間氏と信頼関係が深く、多くの商品が納入され、私が応援したガンダムのマスターマインドモデルを核に店内に展開されました。オープン当初は熱狂的ファンやこれでNETを使いひと儲けしようとする人たちがホームレスを雇いオープン前に並ばしたそうです。一企業に一型3枚しか卸さないマスターマインドはデザインや素材のみならずその存在そのものが稀少で世界的に人気ですが、この現象を見る限りまだまだ元気で世界へ誇れるブランドです。朝日新聞にもパリで評価されている日本人デザイナーの筆頭に本間氏が紹介されておりました。又、前年から充実したレディスも夢のある楽しいファッションで注目です。

5. 美味しいブラータが食べられる「Trattoria Briccola」

伊勢丹新宿店の近くにあるビルの地下のイタリアンレストラン「トラットリアブリッコラ」。白壁と木を生かした広い店内はいい具合にわいわい、がやがや していてカジュアルなかんじが良い。北イタリア地方の煮込みや魚料理、自家製パスタが深夜3時まで食べられ、良いレストランが少ない新宿では使いやすい店です。お料理は全般的に何でも美味しいです。なかでもお勧めは、毎週だいたい火曜日イタリアから直輸入されるブラータ。「ブラータ」とは、モッツァレラに似た生地の中に、生クリームを練りこんで巾着型に包んだフレッシュチーズ。産地の南イタリア のプーリア州から、イタリアの各地に送られるわけですが、日持ちがしないので、イタリア国内でも貴重なチーズのひとつとして扱われています。これに美味しい白ワインがあれば気分はすっかりイタリア。もしブラータを試してみたいければ火曜日~木曜日に訪れると食べられる可能性が大。ただ毎週届くわけではないので電話で確認してから行くのがよいでしょう。お店の方たちのサービスもカジュアルだけどとても気持ちが良い。ふらっと気軽に立ち寄れる新宿のレストランとしてアドレスにしておきたい店です。

予算は1人 ¥7000~

東京都新宿区新宿 3-11-10 03-5369-3534

営業時間: 平日 18:00~翌 2:00(L/O) 日・祝 15:00~22:30(L/O) 無休